

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教官名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	木曜日 木曜日	校時 校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>平易なドイツ語で書かれた6篇の物語（2冊の教科書を使用）を読む。アイヒェンドルフ（1788 - 1857）の童話風の物語、グリム兄弟が採集した童話2篇、それから現代ドイツの作家ペーター・ヘルトリングの短編作品3篇である。</p> <p>これらはいずれも年少者向けの物語といえるもので、筋立ては単純であり、展開には空想的な一面がある。しかし、その中には象徴的に多くの意味がふくまれていて、興味をかきたてられる。</p> <p>教科書には詳しい文法の説明や単語についての注がある。それらを参考にすると、自分でも辞書を引きながら読んでゆくことができる。</p> <p>教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。</p> <p>また、テープを聞いて単語の発音やドイツ語文章の朗読の練習もおこなう。</p>								
テキスト、教材等								
テキストは2冊使用する。		『メルヘンの恋人たち』		池田信夫 編	第三書房			
		『これがダンスさ』		田尻三千夫 編	白水社			
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
2E8~10	定期試験、平素の学習成績、出席状況等を考慮して行う。							
授業計画								
<p>先に のテキストの方から読む。1回に1ページ半ぐらいずつ進む。前もって4・5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。</p> <p>文法や単語に関連した練習問題、作文などを途中で差し挟んで、テキストの理解を深めるようにする。</p>								